

## 平成24年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

<b>実施団体</b>		<b>特定非営利活動法人 えんぱわめんと堺/ES</b>
<b>実施事業名</b>		10代の性・生をともに考えるワークショップ～HIV/AIDS～
<b>団体代表者</b>		北野 真由美
<b>事業の目的</b>		10代の子どもたちにHIV/AIDSに関する正しい知識を伝え、人権の視点で、性について学び自分や他者の気持ちとからだを大切にすることを目的とする。また、10代の子どもたちが同世代のこどもたちに自分たちが学んだことを伝えていく(ピアエデュケーション)。
<b>事業の達成度</b>		今年度もSAY(性・生)の会の授業を受けることができよかったという感想が多かった。その理由として、学校現場で受ける従来の授業ではエイズ/HIVを含め性に関する具体的な内容を学ぶことができていなかったり、自分のからだが大それたということを感じられていなかった。おとなが思っている以上に子どもたちは、性・生に関する情報を得たいと思っているようである。
<b>事業実績</b>	<b>対象となった人数</b>	1,133名 (高等学校903名、中学校230名)
	<b>具体的な活動内容</b>	ワークショップ実施校 2012年11月1日 大阪府立懐風館高等学校(3年生) 2012年12月11日 岸和田市立北中学校(3年生) 2013年1月10日 大阪府立槻の木高等学校(2年生) 2013年1月24、31日 大阪府立東百舌鳥高等学校(1年生) 2013年1月29日 大阪府立箕面支援学校(高等部) 2013年3月11日 大阪府立泉北支援学校(高等部) 合計 6校(7ワークショップ) 参加者1,133名